

## 【リニア対策室】

質問： Bブロックで、耕土をはねて重機やとったけど、今何も重機がないが、あれで終わったってことか。

回答： 今、耕土を履いた工事につきましては、令和5年度分の工事ということで、思いのほか早く進みまして、工期は3月25日なんですけれどもその前に終わっているという状況になっております。

質問： 住民から履いた土をどこかに運び出さなければならない。そんなことないわけだと説明はしたが。そういうふうに解釈してはねた耕土を1回どっかに運び出して、それがえらいことだって、知らない衆はいる。いやそれはないと思う、こうやってるんじゃないかっていうふうに私は説明するんだけど、そう思ってる人おるんだよ。

回答： 令和5年度の工事ではねた土っていうのは、アゲインさんの方に1メートル高さで盛り上げてます。跳ねたところに4月以降ですね、国道からの搬路をつけます。リニアの発生度を盛り上げていくと、それが終わりましたら小渋ダムの方から小渋ダムの土の方が搬入されますので、それが終わった後、そのはねてあった耕土を戻していくという形になりまして、ちょっと最終的に最後の方はもしかすると別のブロックにどかさないとイケないっていう可能性も出てくるかもしれませんが、他の地区に出すっていうことはないかと思われまます。

質問： 先ほどご説明あった小和田地区基盤整備事業の調整業務の業務これちょっと中身がかなりいろいろあって、本来別物じゃないかなと思うんですよ。中が、ですから、これは本当ならばこの委託料の中のこの調整業務の中をまたもう1回分割して表示すべきじゃないかなと思うんですけど、委託料そのものの中。さっきいろいろ出てましたね。五つぐらいのそれが何なのかっていうのはわからない状況で僕は予算書見てるんでそういうものをやっぱりちょっと表にしていきたいと思えます。意見です。

回答： 設計書は1本なんですけども、諸経費が全部違うので、別々に弾いた上で一本にしてあります。ですからそういうのまた細かくいたします。

それではリニア対策室の一般会計の予算について承認される方の挙手をお願いいたします。はい、全員賛成です。

これにてリニア対策室の予算は承認されました。